

福井県後期高齢者医療広域連合告示第13号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成19年条例第19号）第3条第2項の規定に基づき、平成31年4月1日から令和元年9月30日までの財政状況及び平成30年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

令和元年12月12日

福井県後期高齢者医療広域連合長 東村 新一

1 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 令和元年度一般会計（令和元年9月30日現在）

【歳入】

(単位：円、%)

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 分担金及び負担金	470,004,000	235,020,000	50.0
2 国庫支出金	195,000	0	0.0
4 繰越金	1,000	58,237,367	5,823,736.7
5 諸収入	65,000	10	0.0
合計	470,265,000	293,257,377	62.4

【歳出】

(単位：円、%)

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 議会費	1,522,000	37,968	2.5
2 総務費	159,980,000	74,402,838	46.5
3 民生費	306,762,000	0	0.0
4 諸支出金	1,000	0	0.0
5 予備費	2,000,000	0	0.0
合計	470,265,000	74,440,806	15.8

(2) 令和元年度後期高齢者医療特別会計（令和元年9月30日現在）

【歳入】

(単位：円、%)

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 市町支出金	17,853,426,000	6,929,133,361	38.8
2 国庫支出金	34,800,224,000	20,585,845,000	59.2
3 県支出金	8,823,507,000	5,400,000,000	61.2
4 支払基金交付金	42,090,940,000	18,360,430,000	43.6
5 特別高額医療費共同事業交付金	31,785,000	0	0.0
6 財産収入	247,000	23,760	9.6
8 繰入金	902,039,000	0	0.0
9 繰越金	1,000	2,180,837,643	218,083,764.3
11 諸収入	1,056,000	82,610,967	7,823.0
合計	104,503,225,000	53,538,880,731	51.2

【歳出】

(単位：円、%)

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 総務費	342,894,000	141,043,973	41.1
2 保険給付費	103,836,345,000	44,047,712,082	42.4
3 県財政安定化基金拠出金	0	0	0.0
4 特別高額医療費共同事業拠出金	39,868,000	0	0.0
5 保健事業費	243,519,000	297,453	0.1
6 基金積立金	247,000	23,760	9.6
7 公債費	1,000	0	0.0
8 諸支出金	20,351,000	8,843,800	43.5
9 予備費	20,000,000	0	0.0
合計	104,503,225,000	44,197,921,068	42.3

2 財産、地方債及び一時借入金の現在高

(1) 財産

- ①公有財産 令和元年9月30日現在所有なし
- ②基金 令和元年9月30日現在高
療養給付費等準備基金 932,553,961円

(2) 地方債 令和元年9月30日現在借入なし

(3) 一時借入金 令和元年9月30日現在借入なし

3 平成30年度の決算の概況

(1) 一般会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

平成30年度における一般会計の歳入及び歳出の決算規模は、第1表の1及び第1表の2のとおりである。

(第1表の1) 前年度決算額との比較 (単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	562,194,524	486,999,831	75,194,693	15.4
歳出	503,957,157	458,752,576	45,204,581	9.9
差引	58,237,367	28,247,255	29,990,112	106.2

(第1表の2) 予算現額との比較 (単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	562,262,000	562,194,524	67,476	100.0
歳出	562,262,000	503,957,157	58,304,843	89.6

平成30年度の決算額は、歳入5億6,219万4,524円、歳出5億395万7,157円で、歳入歳出差引額は5,823万7,367円となった。この差引額は、剰余金として令和元年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ、100.0%と89.6%となった。

②歳入の状況

平成30年度の歳入決算額は、5億6,219万4,524円で、前年度決算額と比較して7,519万4,693円、率にして15.4%の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が5億3,375万3,405円、繰越金が2,824万7,255円となっている。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、分担金及び負担金が8,338万6,701円増額したことによるものである。

(第2表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 分担金及び負担金	533,753,405	94.9	450,366,704	83,386,701	18.5
2 国庫支出金	146,943	0.0	213,000	△ 66,057	△ 31.0
4 繰越金	28,247,255	5.0	36,373,301	△ 8,126,046	△ 22.3
5 諸収入	46,921	0.0	46,826	95	0.2
合 計	562,194,524	100.0	486,999,831	75,194,693	15.4

※ 決算額構成比は四捨五入しているため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第2表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と 決算額との比 較C-A
1 分担金及び負担金	533,753,000	533,753,405	533,753,405	0	405
2 国庫支出金	194,000	146,943	146,943	0	△ 47,057
4 繰越金	28,248,000	28,247,255	28,247,255	0	△ 745
5 諸収入	67,000	46,921	46,921	0	△ 20,079
合 計	562,262,000	562,194,524	562,194,524	0	△ 67,476

③歳出の状況

平成30年度の歳出決算額は、5億395万7,157円で、前年度決算額と比較して4,520万4,581円、率にして9.9%増加した。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が75万6,553円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が1億4,793万9,411円、特別会計への繰出金である民生費が3億2,701万3,938円、市町への償還金である諸支出金が2,824万7,255円となった。また、予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、民生費が5,395万5,282円増額したためである。

(第3表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 議会費	756,553	0.2	621,846	134,707	21.7
2 総務費	147,939,411	29.4	148,698,773	△ 759,362	△ 0.5
3 民生費	327,013,938	64.9	273,058,656	53,955,282	19.8
4 諸支出金	28,247,255	5.6	36,373,301	△ 8,126,046	△ 22.3
5 予備費	0	0.0	0	0	—
合 計	503,957,157	100.0	458,752,576	45,204,581	9.9

※ 決算額構成比は四捨五入しているため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第3表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 議会費	1,526,000	756,553	769,447	49.6
2 総務費	158,618,000	147,939,411	10,678,589	93.3
3 民生費	371,870,000	327,013,938	44,856,062	87.9
4 諸支出金	28,248,000	28,247,255	745	100.0
5 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
合 計	562,262,000	503,957,157	58,304,843	89.6

(2) 後期高齢者医療特別会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

平成30年度における特別会計の歳入及び歳出の決算規模は、第4表の1及び第4表の2のとおりである。

(第4表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	106,973,113,112	106,301,162,402	671,950,710	0.6
歳出	104,792,275,469	103,914,208,106	878,067,363	0.8
差引	2,180,837,643	2,386,954,296	△ 206,116,653	△ 8.6

(第4表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	105,015,795,000	106,973,113,112	△ 1,957,318,112	101.9
歳出	105,015,795,000	104,792,275,469	223,519,531	99.8

平成30年度の決算額は、歳入1,069億7,311万3,112円、歳出1,047億9,227万5,469円で、歳入歳出差引額は21億8,083万7,643円となった。この差引額は、剰余金として令和元年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ101.9%と99.8%となった。

②歳入の状況

平成30年度の歳入決算の総額は、1,069億7,311万3,112円で、前年度決算額と比較して6億7,195万710円、率にして0.6%の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が173億9,341万2,987円、国庫支出金が355億3,190万733円、県支出金が85億5,924万9,053円、支払基金交付金が418億8,202万2,000円、繰入金が10億904万6,329円、繰越金が23億8,695万4,296円となっている。収入未済額は諸収入において722万5,492円発生し、不納欠損額は0円であった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、市町の保険料負担金に加え、繰越金が増額したことによるものである。

(第5表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 市町支出金	17,393,412,987	16.3	16,752,418,589	640,994,398	3.8
2 国庫支出金	35,531,900,773	33.2	35,663,660,455	△ 131,759,682	△ 0.4
3 県支出金	8,559,249,053	8.0	8,572,118,444	△ 12,869,391	△ 0.2
4 支払基金交付金	41,882,022,000	39.2	41,808,611,000	73,411,000	0.2
5 特別高額医療費共同事業交付金	31,785,105	0.0	22,446,086	9,339,019	41.6
6 財産収入	152,925	0.0	342,004	△ 189,079	△ 55.3
8 繰入金	1,009,046,329	0.9	1,370,716,058	△ 361,669,729	△ 26.4
9 繰越金	2,386,954,296	2.2	1,896,091,657	490,862,639	25.9
11 諸収入	178,589,644	0.2	214,758,109	△ 36,168,465	△ 16.8
合計	106,973,113,112	100.0	106,301,162,402	671,950,710	0.6

※ 決算額構成比は四捨五入しているため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第5表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	不納欠損額	収入未済額	予算現額と決 算額との比較 C-A
1 市町支出金	17,381,001,000	17,393,412,987	17,393,412,987	0	0	12,411,987
2 国庫支出金	34,510,814,000	35,531,900,773	35,531,900,773	0	0	1,021,086,773
3 県支出金	8,560,357,000	8,559,249,053	8,559,249,053	0	0	△ 1,107,947
4 支払基金交付金	41,070,043,000	41,882,022,000	41,882,022,000	0	0	811,979,000
5 特別高額医療費共同事業交付金	22,446,000	31,785,105	31,785,105	0	0	9,339,105
6 財産収入	743,000	152,925	152,925	0	0	△ 590,075
8 繰入金	1,082,376,000	1,009,046,329	1,009,046,329	0	0	△ 73,329,671
9 繰越金	2,386,955,000	2,386,954,296	2,386,954,296	0	0	△ 704
11 諸収入	1,060,000	185,815,136	178,589,644	0	7,225,492	177,529,644
合計	105,015,795,000	106,980,338,604	106,973,113,112	0	7,225,492	1,957,318,112

③歳出の状況

平成30年度の歳出決算の総額は、1,047億9,227万5,469円で、前年度決算額と比較して8億7,806万7,363円、率にして0.8%の増となった。

歳出の決算額の内訳をみると、被保険者証交付や電算処理業務委託料等の事務的経費として、総務費が3億6,554万6,603円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、審査支払手数料等の保険給付費が1,017億6,111万8,103円、市町が実施する健康診査事業への補助金等の保健事業費が2億424万3,660円、保険料還付金や国・県・市町等に対する償還金等の諸支出金が21億9,567万9,846円となった。また、県財政安定化基金拠出金、公債費及び予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、保険給付費及び基金積立金が増額となったことによるものである。

(第6表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 総務費	365,546,603	0.3	329,050,501	36,496,102	11.1
2 保険給付費	101,761,118,103	97.1	101,076,951,474	684,166,629	0.7
3 県財政安定化基金拠出金	0	0.0	39,862,431	△ 39,862,431	△ 100.0
4 特別高額医療費共同事業拠出金	28,047,440	0.0	29,001,347	△ 953,907	△ 3.3
5 保健事業費	204,243,660	0.2	190,300,787	13,942,873	7.3
6 基金積立金	237,639,817	0.2	342,004	237,297,813	69,384.5
7 公債費	0	0.0	0	0	—
8 諸支出金	2,195,679,846	2.1	2,248,699,562	△ 53,019,716	△ 2.4
9 予備費	0	0.0	0	0	—
合計	104,792,275,469	100.0	103,914,208,106	878,067,363	0.8

※ 決算額構成比は四捨五入しているため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第6表の2) 予算現額との比較

(単位:円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 総務費	416,205,000	365,546,603	50,658,397	87.8
2 保険給付費	101,880,506,000	101,761,118,103	119,387,897	99.9
3 県財政安定化基金拠出金	0	0	0	—
4 特別高額医療費共同事業拠出金	37,786,000	28,047,440	9,738,560	74.2
5 保健事業費	225,642,000	204,243,660	21,398,340	90.5
6 基金積立金	238,240,000	237,639,817	600,183	99.7
7 公債費	1,000	0	1,000	0.0
8 諸支出金	2,197,415,000	2,195,679,846	1,735,154	99.9
9 予備費	20,000,000	0	20,000,000	0.0
合計	105,015,795,000	104,792,275,469	223,519,531	99.8